

中野区立第二中学校学校だより

若葉 第238号



令和4年4月22日

令和4年度 第1号
発行者：校長 曾我 竜也

〈令和4年度 新たな教育に向けて〉

『信頼と誇りに基づいた、活力と落ち着きのある学校』

～ 社会の入り口としての学校 ～

神田川の心地よいせせらぎと、春爛漫の日和の中、令和4年度の教育活動がスタートしました。4月1日付けで、前任の松田 芳明 校長 の後を引き継ぎ、大田区の副校長から昇任し、第二中学校の校長を拝命いたしました 曾我 竜也 (そが たつや) と申します。74年の歴史をもつ第二中学校の伝統を受け継ぎながら、本校教員が一丸となり、改善から変革を目指した学校運営に努めて参ります。よろしくお願いいたします。

改めまして、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本年度は108名（I組7名）の新入生が入学し、2年生119名（I組2名）、3年生111名（I組5名）、総生徒数338名でのスタートとなりました。6カ年の小学校の教育課程を修了し、新しい中学校生活への夢や希望が満ちあふれた新入生。

そして、2・3年生もそれぞれ進級し、それぞれが学年の役割に責任を感じ、緊張した面持ちの中にも意気込みが感じられます。この1年間、生徒一人一人の笑顔が絶えることなく、楽しく充実した学校生活を過ごし、コロナ禍の中、With コロナの視点で創意工夫のある教育活動を展開し、日々の教育活動を通して、大きく成長するとともに、全校生徒の心が一つとなり、第二中学校の新しい歴史を築いてくれることを期待しています。

さて、第二中学校の教育目標は、令和三年度より、前任の松田校長により、新たな教育目標へと見直しが行われました。また、同時期に生徒会とのコラボレーションで「第二中学校を世界に誇れる学校にしよう！」というスローガンを掲げています。新任校長として、新教育目標となって2年目を迎える第二中学校を引き継ぐ以上、松田校長が残した教育目標の具現化に努めることが使命と考えています。

学校教育には、先人から受け継がれてきた第二中学校生徒への願いと期待が込められています。松田校長の2年間は正に新型コロナウイルス感染症対策との戦いであったと思います。現在も続くコロナ禍の中、我々大人にとっても、子供たちにとっても、将来の変化を予測することは非常に困難な時代です。そのような中で、自らの人生を切り拓き、生涯を生き抜く力を子供たちに培っていくことが我々教師には求められています。

また、明治時代から今日まで約140年間、日本での成人年齢は20歳と民法で定められてきました。この民法が改正され、2022年4月1日から、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。近年、公職選挙法の選挙権年齢や憲法改正国民投票の投票権を18歳と定めるなど、18歳の若者にも国政の重要な判断に参加してもらうための政策が進められてきました。成人年齢の引き下げは、そのような背景があつてのことでしょう。

つまり、これからの若者は高校卒業と同時に成人（社会人）となるわけです。そう考えると、中学、高校の6年間の中で、子供たちは社会に出る準備をしなければなりません。高校卒業後の大学進学の間も「大学へ進学してから自分の将来を考えていこう」といったものから「社会人（大学一年生）として、世の中にある多くの価値感の中から～自分自身は何のために生きるのか～という問いに対する答えを見付け出し、自分を取り巻く環境や社会に対してどのように関わっていくのか、そして、そのために自分自身が身に付けなければならないスキルは何なのか、そして、そのスキルを高めることができる、自分に適した大学はどこなのか（学部・学科・教授選び）」へと変わっていくのではないのでしょうか。

これからの中学校は高校（上級学校）進学へ向けた進路選択のための通過点ではなく、6年後の社会への入り口として準備を始めなければならない学校として、変革を求められているのかもしれない。

以下に、今年度の「教育目標」について、ご説明いたします。

中野区立第二中学校 <教育目標> 令和3年度(改正)

中野区教育ビジョン、中野区教育委員会の教育目標の精神に基づき、生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力をはぐくむとともに、規範意識の高い、心身ともに健やかな生徒の育成を目指す。

〔自律、尊重、創造、挑戦〕

- ◇ 自ら考え、判断し、行動する生徒
- ◇ 違いを理解し、他者を尊重する生徒
- ◇ 豊かな発想をもち、創意工夫する生徒
- ◇ 変革し、チャレンジをし続ける生徒

(旧)〈教育目標〉

- ◇ 学習に励もう
- ◇ 自己を見つめる
- ◇ 相互に高めあう
- ◇ 体力をつける

「二中を世界に誇れる学校にしよう!」を合い言葉に、生徒とともに学校の生活様式の見直しを図る。

また、これからの未来を切り拓く力を生徒に培って行くことを意識し、授業等の改善に取り組む。

【 校長としての所信 】

将来の変化を予測することが困難な時代に、自らの人生を切り拓き、生涯を生き抜く力を子供たちに培うことが求められています。学校を社会への入口として捉えるとともに、社会へ出るための学びの場として、以下の学校像、教職員像、生徒像を掲げ、学校運営に努めてまいります。

【 目指す学校像 】

- ◇ 信頼と誇りに基づいた、活力と落ち着きのある学校
- ◇ 教師、生徒、保護者、地域が誇れる学校
- ◇ 区民に信頼され、区民とともにある学校

【 教職員像 】

「 授業力・指導力、情熱・使命感、実行力のある教員 」

「 専門性が高く、迅速に行動する職員 」

- ◇ 生徒の笑顔を第一に考える
- ◇ いつでも”笑顔”と、誰に対しても”感謝”の気持ちを忘れない
- ◇ 常に改善、向上、改革を目指す
- ◇ 法令を遵守し、正直で誠実な行動をする

【 目指す生徒像 】

『 相手の気持ちを”慮る”ことのできる生徒 』

- ◇ 違いを理解し、他者の心情に配慮し、尊重することのできる生徒の育成
- ◇ 自ら考え、判断し、行動する生徒の育成
- ◇ 豊かな発想を持ち、創意工夫する生徒の育成
- ◇ 変革やチャレンジをし続ける生徒の育成

<入学式について> 4月7日(木)に行った入学式での「歓迎のことば」と「誓いのことば」をご紹介します。

「歓迎のことば」

四月に入り、ようやく草木萌えいずる季節となりました。新入生のみなさん、第二中学校へのご入学、おめでとうございます。まだまだ、制服にも慣れず、名前も知らない仲間も多くいることでしょう。でも、今日からは、ここに座っているみなさんは、三年間一緒に過ごしていく仲間です。

制服、同級生、先生、先輩、全く新しい環境に置かれ、今、みなさんは緊張とこれからの学校生活への期待とで胸がいっぱいのことでしょう。でも、それは、今、あなたの隣や、前後に座っている人も同じです。みんな同じスタートラインに立っているのです。ですから、気にせず、勇気を出して、自分から様々な人に話しかけてみましょう。きっと、小学校からの友達の他にも、新たな友達が見つかると思います。

さて、みなさん、中学校にはどのようなイメージをもっていますか。もしかしたら、勉強についていけるかなど少し不安を感じている人もいるかもしれません。ここで中学校の生活について、少し紹介したいと思います。

まず、小学校と比較して大きく違うのは部活動の存在です。二中には、運動部、文化部、I組の生徒が活躍するチャレンジ部など、さまざまな部活動があります。先輩とうまくやれていけるか不安に思う人もいるかもしれませんが、しかし、どの部活動の先輩もみなさんを心から歓迎し、優しく接してくれます。自分の入りたいと思った部活動に積極的に参加してみてください。みなさんの入部を心から楽しみに待っています。

次に、学習面についてです。中学校では新たに定期考査と言っているテストが、年に4回行われます。4回と聞くと、少なく感じる人もいるかもしれませんが、成績に大きく関わるテストですので、計画的に勉強する必要があります。不安を感じるかもしれませんが、普段の授業を大切にしていれば、きっと大丈夫です。各教科の先生も、わからないところは優しく教えてくださるので、安心して、日々の勉強に励んでください。

最後に、私たち在校生から、新入生の皆さんに、贈る言葉を紹介します。私の後ろにかかげてある「前進」という言葉をご覧ください。中学校生活は、義務教育最後の三年間と言い換えることもできます。自分がやりたいことを三年間かけてじっくりと探してみてください。二中では運動会や合唱コンクールなど、実行委員を募り、生徒が中心となり運営しています。ぜひ、積極的に参加してみてください。そこで得た経験は、自身が「前進」していくための糧となっていくと思います。また、良い友情を築くことも忘れないでください。日常生活だけではなく、行事などでもクラスの団結力が不可欠です。お互いをよく知り、尊重し合うことで、初めて団結力は深まっていきます。仲間のことを思いやって、みんなで「前進」していく三年間にしていきたいと思います。みなさんが、「二中で中学校生活を送れて良かった」と思えることを、心からお祈りして、在校生からのお祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年 4月7日 在校生代表 片山 悠人

続いて、「誓いのことば」です。

「誓いのことば」

柔らかに 暖かな風に舞う桜とともに、私たちは今日、この第二中学校の門をくぐりました。

本日より、私たち新入生108名は、第二中学校の一員となることができました。未だ、新型コロナウイルスの影響がある中で、このような素敵な会を開いてくださり、心より感謝申し上げます。

私が、中学校で目指したいのは、自分のことを自分で決められる人になるということです。小学生のときには、例えば勉強の取り組み方など、先生に言われたことだけにしか取り組んでこなかったように思います。

中学生になってからは、決められたことや指示されたこと以外にも、自分から進んでいろいろなことに挑戦していきたいと思います。そして、中学生として、自分の一つ一つの行動に責任をもてる人になりたいと思います。

また、六年間あった小学校とは違い、中学校生活は三年間しかありません。かけがえのない中学校生活の一日一日を大切に、勉強はもちろん部活動や委員会活動、先輩方との関わりなど、新しい仲間たちと一緒に、三年間でたくさんの思い出を作りたいです。

先生方、並びにご来賓の方々、地域の方々、保護者の皆様、これから新しい世界へのスタートを切る私たちのことを、温かく見守っていただくとともに、時には厳しくご指導していただきながら、私たちの成長を支えていただけたら、幸いです。私たちが創る、第二中学校の歴史の新たなページを、良いものにしていけるように、どんなことにも懸命に取り組んでいきますので、これから、どうぞよろしくお祈りします。

令和4年 4月7日 新入生代表 加納 志桜

<教職員の異動について>

お世話になった先生方			お迎えした先生方		
校長	松田 芳明	退職	校長	曾我 竜也	大田区より昇任
理科	高橋 美保子	退職	理科	寺内 大介	板橋区立西台中学校
技術	堀田 俊弘	退職	音楽	福島 慶之	小笠原村立母島中学校
音楽	吉田 梨乃	退職	技術	小林 誠也	青梅市立新町中学校
数学	原田 康太郎	都立練馬高等学校	英語	山本 恵	小平市立花小金井南中学校
家庭科	菅澤 奈々恵	退職	英語	遠藤 由実	新規採用
支援員	徳永 帆の佳	退職	特支・保体	野村 恵理	練馬区立石神井中学校
心療職	畑山 咲野花	退職	数学	内野 和宏	立川市立第五中学校
栄養士	山崎 梨奈	退職	数学	高橋 毅	中野区立第七中学校
転出			支援員	坂本まどか	新規採用
特支・保体	望月 徳生	国分寺市立第二中学校	心療職	秋元 真理	新規採用
数学	堀井 祐樹	墨田区立本所中学校	心療職	本多ゆりか	新規採用
英語	有田 まり子	講師	栄養士	林 友理奈	南中野中学校
育児休業					
数学	広瀬 健太	1年間			

お世話になった先生方には、4月28日（木）の離任式に、改めてご来校いただく予定です。

<対面式について>

4月11日（月）の2・3校時を使って、生徒会主催による対面式を行いました。感染防止対策として、1、3年生はアリーナに集合してもらい、2年生は、教室からオンラインで対面式の様子を見守る形式をとりました。2年生の代表と出演者は、出番の際に体育館にて説明と模範演技を行いました。

プログラム

- 1 開式の言葉
- 2 歓迎の言葉（生徒会長）
- 3 生徒会・専門委員会について
- 4 学校生活について
- 5 部活動の決まりについて
（休憩）
- 6 部活動紹介
- 7 お礼の言葉
- 8 閉会の言葉



<本校生徒の功績について>

本校、3年A組の中澤 隆将くんが所属する硬式野球チーム（世田谷西リトルシニア）が先日行われた2022年全国選抜大会にて全国優勝をしました。キャプテンとしてチームをまとめ、優勝に大きく貢献しました。

とても素晴らしい功績です。これからも努力を続け、夢を叶えて欲しいと思います。

